

JCD関東支部賛助会員

みはし株式会社	高安 晃久	埼玉県和光市白子3-26-43 tel:048-464-3112 fax:048-466-1034 http://www.mihasi.co.jp
西澤工業株式会社	西澤 康明	群馬県高崎市上並榎町445 tel:027-362-6234 fax:027-362-6462 http://www.nishizawakk.co.jp
株式会社ブランドゥ・モトハシ	藤原 巧	東京都練馬区下石神井3-9-10 ガーデンハウス・ベル石神井1-101 tel:03-5923-6505 fax:03-3904-1920 http://www.plando-group.co.jp
株式会社本間工芸	本間 克典	神奈川県相模原市緑区長竹887-3 tel:042-780-0160 fax:042-780-0173 http://www.honmakougei.sakura.ne.jp/
株式会社大川工務店	大原 史弘	東京都目黒区緑ヶ丘2-15-13 国領ビル206 tel:03-3705-5605 fax:03-5701-0383 http://www.okkawakoumuten.jp
桐野建設株式会社	桐野 温	埼玉県三郷市栄4-258-1 tel:048-954-6606 fax:048-954-6628 http://www.kirino-kensetsu.com
アルプス株式会社	原 康喜	東京都新宿区早稲田南町33 tel:03-3207-0006 fax:03-5272-0051 http://www.alps-co.com
ソリュート株式会社	奥 弘史	東京都千代田区東神田2-7-1 広部ミヤケビル6F tel:03-5809-2815 fax:03-5809-2816 http://www.esgjapan.com
YKK AP株式会社	東 裕信	東京都墨田区亀沢3-22-1 YKK 60ビル tel:03-5610-8435 fax:03-5610-8436 http://www.ykkap.co.jp
株式会社ユニオン	沼田 健一	東京都江東区白河2-9-5 tel:03-3630-2811 fax:03-3630-2816 http://www.artunion.co.jp
株式会社ドラフト	霜田 香織	東京都新宿区四谷4-28-4 YKBエンサインビル12F tel:03-5366-6100 fax:03-5366-6101 http://www.draft.co.jp/
株式会社和興	貴田 健大	東京都港区東新橋2-5-5 日建岩田ビル5F tel:03-5408-8900 fax:03-5408-8901 http://www.k-wakoh.co.jp/
有限会社原田左官工業所	原田 宗亮	東京都文京区千駄木4-21-1 tel:03-3821-4969 fax:03-3824-3533 http://www.haradasakan.co.jp/
東工シャッター株式会社 東京支店	梅垣 敬志	東京都台東区元浅草3-13-12 Uビル8F tel:03-3842-1778 fax:03-3842-1779 http://www.toko-ss.co.jp/
Soranna Avenue株式会社	ソランナ マルコ	東京都大田区仲池上2-18-14 グランイーグルII-601 tel:090-8304-1458 http://www.sorannaavenue.co.jp
株式会社博報堂	細野 百子	東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー tel:03-6441-8221 http://www.hakuhodo.co.jp
株式会社オーツー QUON TOKYO	西盛 正知	東京都港区港南3-4-27 WAREHOUSE2F tel:03-6433-1075 fax:03-6433-1076 http://www.otu.co.jp
株式会社SIXINCH. ジャパン	乾 敦雄	東京都渋谷区松濤1-26-18-1F tel:03-6416-8800 fax:03-6416-8801 http://www.sixinch.jp/
株式会社GLORY	申 東照	東京都北区浮間4-23-25 GLORY Bldg tel:03-3969-2591 fax:03-3969-2592 http://www.gloryad.jp
ウッド建材株式会社	志村 孝広	埼玉県入間郡三芳町上富890-1 tel:049-258-7679 fax:049-257-0756
株式会社ミネルバ	根井 淳	東京都品川区平塚1-10-7 tel:03-3785-2337 fax:03-3788-1431 http://minerva-jpn.co.jp
有限会社Tommy's Works	田澤 淳一	東京都練馬区練馬4-15-23 パークサイド/ライツ205 tel:03-6764-1000 fax:03-6767-6434 http://tommys-works.jp
株式会社NENGO	藤松 豊	神奈川県川崎市高津区下作延7-1-3 tel:044-829-3383 fax:044-829-3329 http://www.nengo.jp
株式会社CROWN	所 奈津子	東京都港区北青山2-10-28 1F tel:03-3479-5553 fax:03-3479-5554 http://www.area-japan.co.jp
株式会社日吉屋	平山 大輔	京都府京都市上京区百々町546 tel:075-441-6644 fax:075-441-6645 http://www.wagasa.com/
インターフェースジャパン	福島 祥子	東京都港区虎ノ門5-1-4 東都ビル6F tel:03-5733-5211 fax:03-5400-6160 http://www.interfacefor.jp

2016年2月末現在

JCD
KANTO
Designers

発行人: 小田秀樹/関東支部長
編集長: 古川紳太/広報委員会
編集委員: 大滝道晴/広報委員会

噂の商業施設

「TOTO 歴史資料館」一足踏みに出会える博物館—
TOTOの歴代製品などを展示する資料館。
初代ウォッシュレットや旧総理大臣官邸や国会
議事堂に使われた器具が展示され、約90年
のTOTOの歴史とともに、日本の水回りの器
具の変遷をじかにみられます。

■福岡県北九州市小倉区貴船町 2-2 093-
951-2534 営業時間 9:00~17:00
休館日: 土日祝日 年末年始 入場料: 無料

JCD
KANTO
Designers



2016
0329

JCD kanto publishing

関東月例会 とくトーク

'16 January
2016年1月28日
18:30~21:30

オカムラVisplay
ショールームで語る

“建築”と“内装”の間



牧場創業 momom / 撮影: Jeremie Souteyrat



ニコニコショップ / 撮影: 太田 拓実



CELL / 撮影: 太田 拓実

先ず初めに。今回、菅原さんとお会いするのは初めてでしたが写真で拝見した「クールな男」の印象とは全く反対の笑顔の素敵な方でした。「建築とは？」の難しい問いに「建築とはモノ・コト・ヒトの「美しい関係」だ!と、すらすらと答える辺りに「人を一番」に考えていることが伝わります。「牧場創業 momom」では牛の斑の柄をモチーフにインテリアに取り込み、そして素材にアルミ叩き出しを使用することで周りの景色を取り込んでいます。「ゆたか幼稚園」では「密度を調整した壁」を持ち込み空間を緩やかに仕切ってみせています。また、ここでも天井部で白く反射する仕上げで園庭で遊ぶ子供達の影を室内に取り込んでいます。賃貸ワンルームマンションのリノベーション物件「CELL」や「切通しの家」では、仕切りの高さ、形、形状により、人が回り込むと見える、立つと見える、座ると見える、寝ると見える、と言う視覚操作で空間を豊にする試みを行ったりもしています。「CELL」「ニコニコショップ」で共通しているのは「明・白」と「暗・黒」とで明確に塗り分けることで見える物、見えない物、を巧

みに切り替えています。僕が好きであったのは「時の流れる家」で、鉄が錆びていくと言うネガティブな要素を「サビで記憶していく＝時の流れを感じる」というポジティブなものに変換してみせているところでした。2人が結婚をして家族になり、子供が生まれ、そして家族と共に育っていく、その歴史を「時の流れる家」と共に過ごせことは、とても幸せな事のように感じます。建築と内装の両方に向かう姿勢に共通して言えるのは菅原さんの発する言葉「計画的に無計画を計画する」「箸のようなモノのあり方をつくる」あるいは「作り込まないようにつくり込む。」ということからも機能から整理して「意匠・形」を作るよりも、人の「所作・視線」から心に生まれる「感情・想い」を一番大事にしているようです。

おわりに。JCD関東支部研究セミナー委員会/とくトークは2月に亡くなられました高村裕之さんが委員長として企画・開催・運営を行ってこられました。今後も実りある「とくトーク」を続けて行く事で高村さんの想い。そして意志を引き継いで行けたら...と考えています。

関東月例会 とくトーク委員長
コーディネーター / 高村裕之
執筆 / 水谷 晶人



トークゲスト

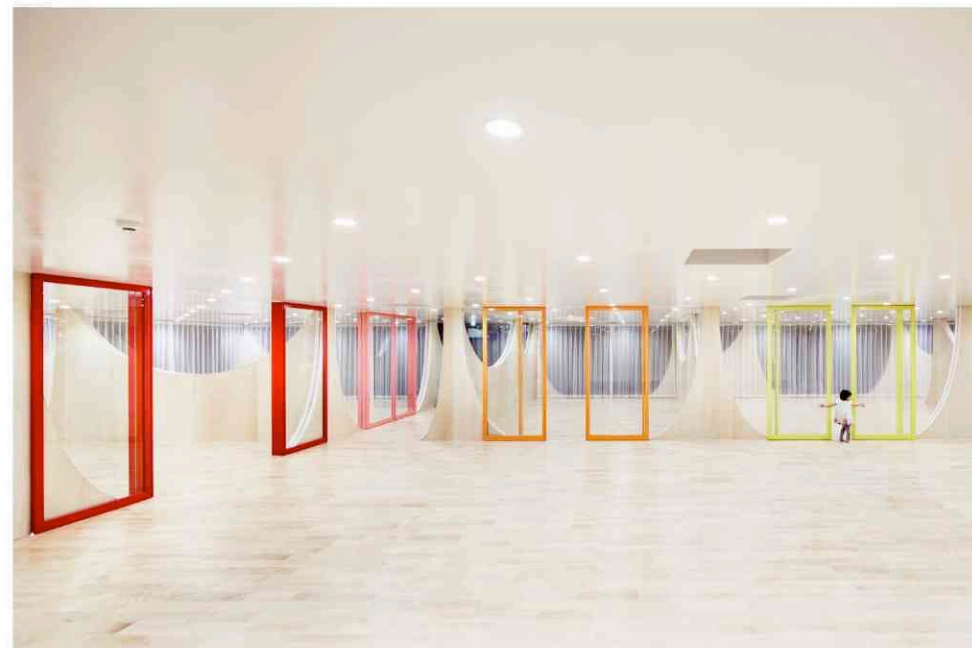
菅原大輔氏

Daisuke Sugawara
SUGAWARADAIJUKE
代表 建築家
(一級建築士)
アートディレクター

Profile

日本大学・早稲田大学非常勤講師
日本建築学会正会員 / GSデザイン会議正会員
GROUNDSCAPEpaper編集長
1977 東京に生まれる
2000 日本大学理工学部建築学科卒業
2003 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了
2008 SUGAWARADAIJUKEを設立
2013 日本大学理工学部非常勤講師
2015 早稲田大学創造理工学部非常勤講師

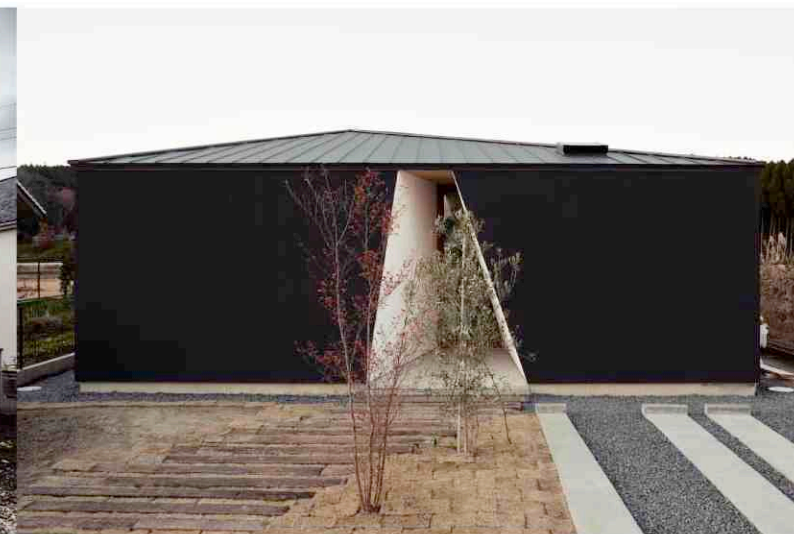
日仏の建築事務所10か国22都市のプロジェクトを担当し、帰国後独立。環境と時間に対する建築的思考を背景に、都市計画、建築からプランニングまで総合的なデザインを手掛ける。



ゆたか幼稚園 / 撮影: Jeremie Souteyrat



時の流れる家 / 撮影: Jeremie Souteyrat



切通しの家 / 撮影: 太田 拓実

冬こそ北陸

関東支部研修旅行リポート 特別委員長 星明臣



重伝建 ひがし茶屋街



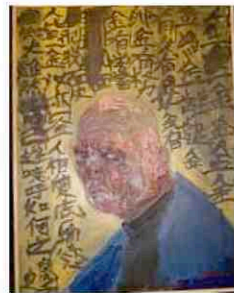
まちに開かれた公園のような美術館「金沢 21C 美術館」



鈴木大拙館 揺れるみずも



快晴の羽咋市千里浜なぎさドライブウェイ



井上有一 型破りの 目画像



「笑宿」で、自己紹介中の高岡クリエイターの方々

今回の支部研修旅行は、「冬こそ北陸」の惹句で、2月7日・8日 金沢～能登半島の周遊を実施。会員等15名の方が参画されました。

加賀百万石の城下町「金沢」戦災を受けなかったこともあり当時の歴史的建造物や街並みだけでなく伝統工芸、伝統芸能、食文化など、多くの文化遺産が受け継がれている。

JCD一行は、先ず重要伝統的建造物保存地区のひがし茶屋街に向う紅殻格子と石畳通りはおしゃれなカフェや小物の店が並び、きもの姿で散策する若い女性観光客や店先の明りで華やいだ雰囲気醸し出されている。

第1日目は、自分仕様の視察研修が基本。銘々が、それぞれの意の赴くスポットを訪ね歩きました。兼六園～金沢城～武家屋敷跡・加賀友禅会館や森八菓子木型美術館など等私とは言えば、尾張町の「金沢蓄音機館」を訪ねた。

エジソンが蓄音器を発明したのは、1877

年(明治10年)いにしへの蓄音器600台にSPLレコード4万枚。たまたま、蓄音機10体の聴き比べの実演中、暖かで豊かな音質は、まさにオーケストラと向き合っているかのような臨場感。懐かしき調べに、その昔に思いを廻らせる、心安らく時間でした。

さて、目玉の金沢 21C 美術館では、書家「井上有一」の回顧展が催されていた。作品200点が展示。孤高の狼、型破り、愚直な一徹さその書が今なお生気を宿し、見るものを圧倒する、さながら前衛絵画である。「貧」は、笠をかぶった人がうすくまり、立ち上がり、歩き出すような形態を感じさせ、命を絞り出してぶっつけたような凄みがある。平和ボケした私たち見る者の、心に迫り揺さぶる。「クリエイションとは、型を破ること・型破りが極意」なんだと改めて納得。「まちに開かれた公園のような美術館」の迷路のようなゾーニングに迷い込み、辟易しながら、やっとの思いで脱出。やれやれ雪が降り出した夕間

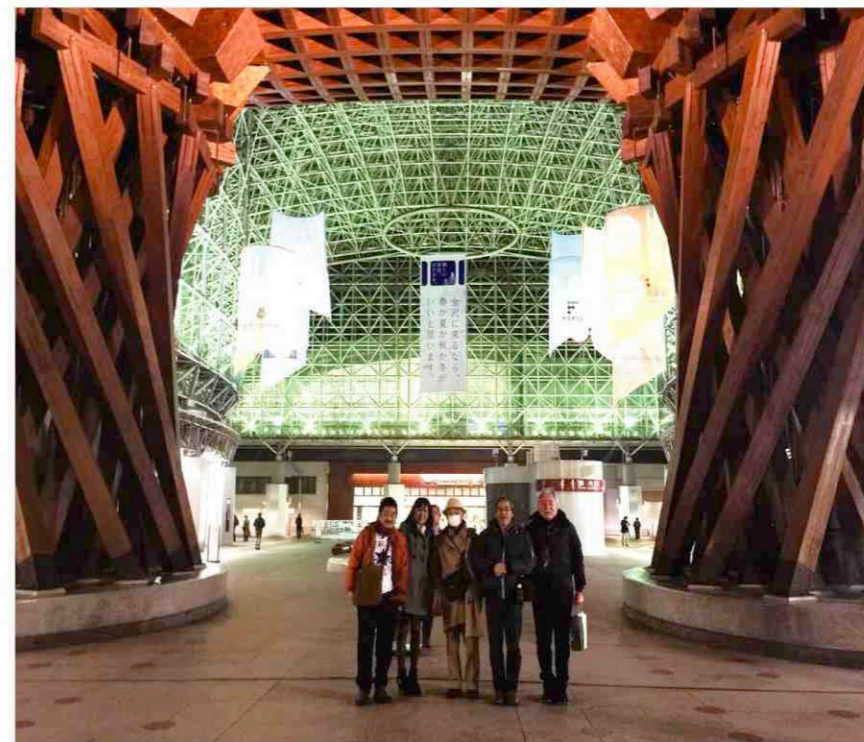
の中を10分ほど歩く。近年開設された「鈴木大拙館」へ向かう。あいにく閉館時間は過ぎていたが我々にとってはOK。重い雪、夕間に滲むように浮かんだ白い立方体。微かな波紋に揺れる水面。廻廊仏教哲学の思想を体感する思いだ。借景の松林と相まった幽玄の世界は将に、能登の絵仏師 等伯の「松林図屏風」を彷彿とさせる。

夜は、片町「笑宿」高岡のクリエイター6名の方々との交流会。全員で会食。

大工から建築デザイナーに転身、飲食店などの店舗設計を手掛ける笹嶋さん、梵鐘製作・伝統工芸士の島谷さん、漆器コーディネーターの國本さん、原型アーティストの嶋さん、銅器販売の大寺さん、そしてデザイナーの尾崎さん。皆さん40代前半、高岡のクリエイターの熱意はすごい。子供の教育やSoda活動との連携など等、熱く語り合う。盛り上りの熱気はやがて2次会へと続くのだ。(ご紹介頂いたサカイリブ / 堺社長に感謝)



金沢百番街「地酒蔵」の試飲セット



金沢駅「もてなしドーム・鼓門」奥に見えるのが文中の天幕

翌8日は、「わじま号」で能登めぐり。これ以上望みようもない快晴。ガイドの女性がこれまた最高のプロフェッショナルのと里山海道は快適。輪島朝市・おばちゃん、のどぐろ。白米千枚田(1004枚?)輪島きりこ会館、輪島塗会館、外浦村・間垣の里、羽咋・千里浜なぎさドライブウェイ(8キロの海岸砂浜)砂像・道の駅など等。ありていと言えば、定番コースの履修と言ったところだったが、降り注ぐ陽光で気分は爽やか。帰りの新幹線までのわずかな時間。駅ビル「金沢百番街奥の「地酒蔵」に嵌まり込んでしまった。そう、加賀百万石の華やかな文化に彩られた街、金沢は地酒王国。鶴来の万歳楽や天狗舞の吟醸酒など等、カウンターで地酒の試飲ができる。気に入った銘柄はグラスで飲める。気の利いたつまみもあり、たまらないコーナーだ。5~6席のカウンターはいつの間にか、みなJCDの顔ぶれに。他の客を追出してしまっていたのだ。・・・

やれやれ。さて、この金沢行では、同行の下村牧子会員のサポートを得ました。彼女は金沢東急ホテルの仕事でこの数年、金沢通いをしている。金沢駅「もてなしドーム・鼓門」のガレリア風の巨大天井に「金沢に来るなら、春か、夏か、秋か、冬がいいとおもいます」と書かれた大きな天幕が掲げられていた。そう、いつでもいいのだ。某会員の「甘酸っぱい青春の記憶を迎えてみたい」との秘めたる想いに乗せられて、「冬こそ北陸」と見栄を張ってみたわけだが、その全てを差し引いても余りある楽しい2日間でした。

お疲れ様でした。そして、有難うございました。また宜しく。

石のソリューションカンパニー

石の厚さを2ミリまで薄切りできる技術が我が社の強みです。石材にタイル、ハニカム、ガラス、FRPなどを組み合わせた複合板で石材だけでは解決できないお客様の課題を解決する「石のソリューションカンパニー」を目指します。

Solute

ソリュート株式会社 代表取締役 **奥 弘史**

〒101-0031 東京都千代田区東神田2-7-1 (広部ミヤケビル6F)
TEL.03-5809-2815 FAX.03-5809-2816

株式会社ESG JAPANは、ソリュート株式会社に社名変更いたしました。

厚さ2mmの特殊左官「エコリバイバル工法」

下地を選ばず、厚さ2mm以内で表現する左官工法



株式会社プラン・ドゥ・モトハシ
177-0042
東京都練馬区下石神井3-9-10-1-101
03-5923-6505 / F 03-3904-1920
info@plando-group.co.jp
担当 藤原 巧

会員の近況報告



ロシアでの講演会も毎年行っています。懇親会は美女だらけ。ロシアで毎年のように雑誌に掲載されています。

「20年史」



中村茂雄(なかむら しげお)
中村茂雄デザインオフィス
www.nakamura-design.net
神奈川県逗子市新宿4丁目6-62-101
TEL: 046-874-9962
E-mail: mail@nakamura-design.net

今年、私は独立20周年になる。20年前といえは手書きの図面からCADへ移行され、インターネットが加速的に普及、バブル経済崩壊後の失われた20年と言われ政治経済とも低迷を続ける中を生き抜いてきた。地元名古屋で現場監督を経て25歳で独立、30歳で商店建築の表紙に掲載され、ナショナルライティングアワードで最優秀賞を受賞。31歳でJCDに入会し、デザインを学んだことのない私は、先輩方の姿からデザインを学んだ。35歳でNagoya Design Weekを発起し5年間デ

インの啓蒙活動に明けくれ、同時期にロシアでホテルの仕事を、商工会議所のセミナーで出会った日本郵船の元キャプテンから紹介を受けた。10年前個人デザイナーがロシアで活躍し始めたのは、私が史上初の出来事で、2011年に石上純也氏がモスクワの科学博物館増改築コンペで選ばれたが難航し現在まだ完成に至っていない。最初に手掛けたホテルはロシア全土スモールホテル部門でグランプリを受賞、東シベリア最高の4つ星を獲得し高い評価を得た。設計の6割程度しか再現されず当初は不満に思っていたが、ロシアの技術や好みを知ることができ、これをきっかけにロシアでの仕事が続き、現地の人に愛されTVニュース/新聞/雑誌と毎年のように紹介されていることに感謝する。まさか10代の時、外人クラブのバーテンダーで学んだ英語が役にたつとは思っていませんでした。当時は辞書を引かなければラブレターを書いていましたが、今では自動翻訳で英語やロシア語でも図面を描くことができます。ロシアでの仕事はその他、2件の住宅とレストラン、ホテルの仕事を終えた。

ホテルの仕事の為に半年間ロシアに滞在し、美しい自然環境の中で働く幸せを体感し、名古屋へ帰国すると毎日サイレンの音がけたましく嫌気が差した。リーマンショック後の名古屋経済は酷く40歳を過ぎ人生の折り返しだと思ひ、新たな新天地を求め東京近郊で美しい自然のある場所、逗子に移住することを決意。半年間ロシアに滞在したホテルの仕事は、近隣住人の反対で凍結されてしまったのは残念であるが、昨年新たなホテルの仕事依頼がありプレゼンテーションを無事に終えることができたが、ロシア通貨のルーブルは相次ぐ経済制裁、原油安で半値以下になってしまひ物価は高騰、

プロジェクト再開の目処が立たない。BRICsと呼ばれるブラジル、ロシア、インド、中国は、インドを除き経済低迷の危機にさらされている。日本経済の成長は人口減少の中で輸出拡大とエネルギー革命をしない限り期待はできない。

近年においては2020年東京オリンピックに向け東京では活気が蘇っているが、小売業など閉店が相次いでいる。西友が30店舗、イトーヨーカ堂40店舗、アピタユニバーホールディングス50店舗の閉店を検討。ヤマダ電機は2ヶ月で57もの店を一挙に閉鎖、マクドナルドは110店舗閉鎖した。こんなことが近年にあったらどうか?総合スーパーの1㎡の売上げは82万円から47万円と半減し、明らかに消費者の購買行動が変化しているであろう。リアル店舗はショールームと化し、どこに行っても看板が違うだけで同じ商品では、わざわざ時間とお金を使って出かけるよりも、ネット購入でより安い商品を選択してしまうのは当然の行動である。差別化できない商品は、結局「価格」で差別化するしかなくなり、恰好のインターネットの餌食になる。時代の荒波の中で変革が求められる中、客のニーズを満たさない店舗は急速に淘汰されていく。FacebookやLINEなどソーシャルメディアマーケティング時代、デジタルとリアルをシームレスにつなぎ、顧客ロイヤリティを獲得・向上させるための接点として、新たに注目されつつあるオムニチャネル・リテイリングや、リアル店舗での新たなコミュニケーションを模索しなければならない。

店舗を設計する我々も時代にマッチし、そこへ出かけないと体感できない感動や、新たな提案など差別化出来なければ生き残っていけないのではと考える。

風は強い、波は更に大きく荒れてゆく。

関東支部クラブ活動

「合宿」

飯島直樹

私がJCDに加入したのは1992年。杉本貴志さんと内田繁さんからの要請で、東京のデザイナーが大量加入したときの一員でした。シンポジウム委員を仰せつかり、翌年から連続シンポジウム「SECTION」を始めます。これは2016年3月10日の開催で57回の長寿企画となっています。他にもJCDデザインアワードの再編や審査員、East Gatheringのような国際交流活動、他団体と連携する空間デザイン機構の立ち上げにもかかわり、果てはJCD理事長までやりました。

けれども、私にとって欠かせないもうひとつのJCDとのかかわりは、「合宿」というサーフィン同好の集まりです。

私は1968年にサーフィンを始めました。しか

しさすがに50を超えた頃には海から遠のきはじめていました。その時に出会ったのが高村裕之さんです。丹青社生え抜きのデザイナーで「正月休みを延長して(ハワイ)マカハ海岸でサーフィン出来ないんだったら会社を止めるよ」と豪語するセント君(高村さん、奈良のマスコットキャラクターに似ていた)との波乗り行脚は、2002年千葉鴨川ではじまったのでした。

2004年以降は故黒川勉(片山正通さんとHデザインを協働後独立2005年急逝)も参加するなど多士済々、紳士淑女30人以上が集まる「合宿」のようになり、以後毎年9月の鴨川での集合をサーフィン「合宿」と呼称するようになります。

2015年の顔ぶれを軍隊風役割で紹介するとこうなります。狙撃兵岩田草史(眼が鋭い)、傭兵玄・ペルトー・進来(都合が悪いと日本語が解らないフランス人になる)、炊事二等兵小柴順二(合宿の炊事切り盛り役、従軍看護婦黒澤彩子(看護された)、軍神渋谷和寿(乃木大将に似ている)、照佐中前公晴(照明デザイナー)、ロシア兵中村茂雄(ロシアで仕事)、軍曹平田竜次(なんとなく、捕虜古川紳太(自己申告)、挺身隊はやしまり子(身を挺した仕事ぶり)、イタリア兵下平万里夫(ご存知マリオ・デルマー)、現地兵

関本康彦(見た目が)、そして従軍カメラマン高村裕之(どこでも写真撮りまくる)などと遊ぶ騒々しい面々、宴会合間に波乗りもやります。

しかし大変残念なことにこの「合宿」、今年の9月には、セント君高村裕之さんは不在となってしまいました。2016年2月21日、南の海パプアニューギニアのサーフツアーで、夕方の最高の波でのセッションの後、高村さんは急逝されたのです。享年54、高村さんと鴨川で出会ったときの私の年齢です。言葉がありません。

「合宿」の参加メンバーの多くがJCDメンバーです。賛助会員のつながりで参加する平田さんなどいます。公私を超えた付き合いでした。そんな「合宿」を継続するために、世話人をそろそろ高村さんにお願いしよう、と思っていた矢先のことでした。

いやいやや困りました。でも、これもまた、JCDをつなぎ続けてきた結果と思うと不思議な気持ちになります。2月10日の夜、青山AND(小坂電さんの事務所)において、JCDデザインアワードとJCDを巡る新たな改革の話し合われました。とても重要な論議でした。しかしそれが高村さんとの最後の夜となってしまつたのは、... 「合掌」。



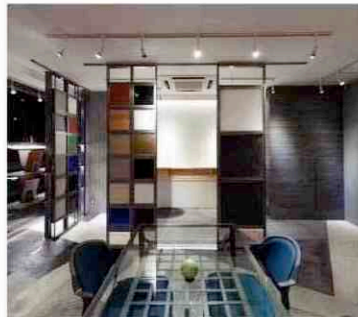
新潟県南魚沼市の塩沢つむぎで有名な「酒井織物」の店が千駄木にあります。私の家内がたまたまこの店に立ち寄ったのが縁で、酒井さん一家と家族ぐるみのお付き合いになりました。酒井さん親子が楽器を演奏している話を聞き、何か一緒にやってみようと思ひ持ちこのバンドが結成されました。ボーカルが不在だったのでボーカルを賛助会員から募集し、和興の貴田さんが参加してくれました。ロックンロールを中心にコピーしています。湯島のスタジオにて月一目標で練習しています。2015年JCD冬のパーティーでは、斉藤和義の「ずっと好きだった」、モップスの「たどりついたらいつも雨降り」、エレファントカシマシの「今宵つきのよう」、キャロルの「ファンキーモンキーベイビー」以上4曲を演奏しました。Bocal&Guitar 貴田健大(和興)/Base 酒井四郎(酒井織物 父)/Guitar 酒井了(息子)/Drums 奥弘史(ソリュート)

軽音楽クラブ

「奥 BAND」
ソリュート株式会社 奥 弘史



特殊左官工事 オーダーメイド左官



113-0022
東京都文京区千駄木4-21-1
有限会社原田左官工業所
TEL 03-3821-4969 FAX 03-3824-3533
http://www.haradasakan.co.jp
E-mail: sakan@haradasakan.co.jp

「SAKAN LIBRARY」は原田左官ショールームの名称です。

装飾建材の総合メーカー
意匠のご提案から設計・製造・見積・施工をトータルで承ります。

みはし 株式会社

〒351-0101 埼玉県和光市白子3-26-43
TEL 048-464-0384 FAX 048-466-1034
http://www.mihasi.co.jp E-mail:mihasi@mihasi.co.jp



ワークショップ
@蒲田小学校
@浜田山小学校
@平和の森小学校

Soda委員会 木村 倫香

2016年の初めは、3校の事前授業形式ワークショップ目白押しで我々Soda委員会メンバーにとっては嬉しくも忙しくハードな日々となりました。

初の大田区開催となる蒲田小学校では、4年生71名の生徒が対象でした。また初の試みのレクチャーと制作ワークショップと発表の日がちが別日となりました。初日はレクチャーのみ。制作日に生徒の前に講師が並び担当の紹介をすると「かっこいい!」「イケメン先生!」「かわいい!やった〜!」など激しいリアクションに講師陣もタジタジに。明るく自由な発想で、また素晴らしい作品たちが出来上がりました。通常は制作後に給食と一緒に食べたあと発表となるのですが、発表日が別になると生徒たちの元気も再チャージされ尚且つ発表リハーサルも行うようで、時折小芝居めいた台本に沿った発表や、フリップを使った説明も飛び出し笑いに溢れたものとなりました。参観の父兄も興味深く見入っている様子でした。

恒例になったバレンタイン時期の浜田山小学校は、杉並区のマンモス校。6年生120名の20グループに分かれてのワークショップです。例年のイメージでは、都会で様々な体験を通し大人っぽい子供たちで、現実的なプランを立ててきます。けれど今年はちょっと違いが。そんな予想を軽々と裏切られるのがまたSodaの面白さでもあります。作品のひとつの「ヒストリー&フューチャー」過去と未来を行き来するドアが設置されたレストラン。その時代の料理



蒲田小学校での新藤委員長のレクチャー



役割分担して、ちゃんとデザイン。夢中な時間



蒲田小学校の給食。パンの日はめずらしい



お菓子の町。実在しそう!

体験もできるそうです。何とも夢の溢れた発想で凝り固まった大人の私たち講師も学びの多いものでした。皆が事前に設計図を描いており、コンセプトが明白になっているため、素材選びもスムーズに進んでいきます。事前授業にて紙粘土で商品の模型が出来上がっていて、自分のこだわりの箇所が見えているので自ずと役割分担が出来ていき、順調に制作が進み、個性豊かな素晴らしい20作品が出来上がりました。

中野区の平和の森小学校も、定期的に開催している学校ですが、若く熱心な図工の先生の発案で毎年違うプログラムを行っています。今年は何と、一人一作品を作るといふもの。4年生93名。自分の部屋でも店でも自由な空間を作るという内容で、前もって図工の授業でベニヤ板の30cm×30cmの床と壁面のベースが出来ており、各々好きな色を塗り、作業の早い子供は木片を使い造作も進んでいます。ここから協賛企業様からの様々な素材を使い、よりオリジナルの空間を仕上げていくのです。例年のグループ作業とは違い、理想の部屋作り、自己表現の場となっているようです。私たちの指導は午前中のみで終わりましたが、本当に個性溢れる空間たちが出来つつありました。けれどそれで完成ではなくその後もっと作

り込んでいき、3月中旬に展示会を開く計画だそうです。見学に訪れるのが楽しみです。

今後このような新たな試みを行いながら、私たちSodaの授業も形式にこだわらずに変化していくことでしょ。エネルギー満タンの子供たちと接することは心身ともに疲労困憊なのですが、教えているつもりがいつとる発見や刺激も沢山受け取ることとなり、大変意義のある活動になっています。

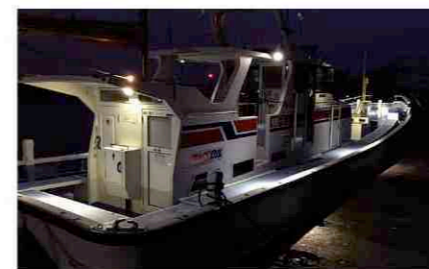
【講師陣】Soda委員会
大田区立蒲田小学校開催日 2016年1月13日(木) 13:35~14:20 デザインレクチャー(座学)
1月19日(火) 10:40~14:20 制作1月23日(土) 8:45~10:20 発表
杉並区立浜田山小学校開催日
2016年2月12日(金) 8:45~15:10 デザインレクチャー(座学)・制作・発表
中野区立平和の森小学校開催日
2016年2月16日(火) 9:00~12:15 デザインレクチャー(座学)・制作
講師陣/正会員: 星 明臣、新藤 力、木村 倫香、小田切 純子、雲野 一輝、品川 正之、菊池 一彦、大滝 道晴、板橋 智美、下村 牧子、福田 裕治、奥平 与、小田 秀樹、浜本 康一、田口 祥子、石橋 美幸、中村 雅子 支部会員: 深田 祐馬 特別参加: 沢瀬 幸 (KEIKO+MANABU)
賛助会員: 鈴木 祐子 (株式会社岡村製作所) 藤原 巧 (株式会社プラン・ドゥ・モトハシ)、横井 淳 (エヌイー・ワン)、寺内 雅人 (アイオーシー株式会社)、志賀 彦之 (三協立山株式会社)、岩 道明、菅井 雅美 (株式会社サカイ)、若崎 仁美、馬島 亮菜 (田島ルーフィング株式会社)
ご協力頂いた企業 / 株式会社サカイ、名古屋モザイク工業株式会社、エスケー化研株式会社、四国化成工業株式会社、田島ルーフィング株式会社、東リ株式会社、株式会社サンケツ、株式会社ニッポーホールディングス、株式会社ワーロム、リビエラ株式会社、株式会社ベルファニチャー、株式会社中川ケミカル、KAMISM 株式会社 敬称略 順不同

JCD 関東支部賛助委員主催

“冬の海上花火大会 夏の海上花火大会” 報告 & 告知

賛助会員
(株)プラン・ドゥ・モトハシ 藤原 巧

昨年12月に冬の海上花火大会イベントを行いました。10名程の参加でしたが、現地のアジフライや、酒を堪能し乗船。海上に出ている船も少数だったので、貸し切りで花火を



“冬のパーティー @渋谷シダックス”

去る

編集部 古川 紳太

いにしへの土壁が21世紀に蘇る

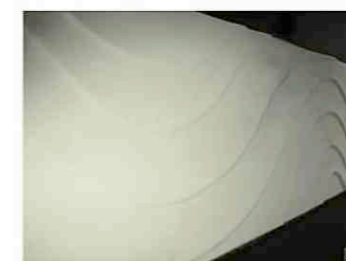
左官の伝統技法に現代アート感覚をプラス

オーダーメイドで壁面を演出してみませんか。弊社は特殊左官を専門に施工している職人集団です。

天然土壁「かぐや姫」

登録商標

天然素材である全国の土を原料に、自然で落ち着いた風合いと、土に加えたスサのもつ質感・表情・品位・優しさ・力強さを残しつつ、土の弱点であるヒビ割れの防止・接着力や強度・耐水性を向上させ、剥落のない内外壁材として開発したのが、天然土壁「かぐや姫」です。



左官による波型仕上げ



版築風左官



左官絵画「鶴」

漆喰・色土・玉石・ガラス・ワラ・和紙等のブレンドでテクスチャーは無限。古くからの技術と新しい技術を融合させて新たな壁の表情を創作します。

※天然土壁かぐや姫は責任施工のため、基本的に施工共の作業になります。



西澤工業株式会社

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 445 番地
TEL.027-362-6234 FAX.027-362-6462

http://www.nishizawakk.co.jp/ e-mail:yasuaki@nishizawakk.co.jp

リブ材&S
株式会社サカイ S

(ご注文・お見積もりは本社へ)
本社 T:0120-07-7810 F:0120-96-9433 〒811-0203 福岡県福岡市東区塩浜1-27-24
(担当者不在の場合は有ります為事前にご予約下さい)
東京ショールーム T:03-6300-4341 〒151-0066 東京都渋谷区初台1-29-13BELAIR Kato101

厚さ2mmの特殊左官
「エコリバイバル工法」

下地を選ばず、厚さ2mm以内で表現する左官工法

株式会社プラン・ドゥ・モトハシ
177-0042
東京都練馬区下石神井3-9-10-1101
03-5923-6505 / F 03-3904-1920
info@plando-group.co.jp
担当 藤原 巧



「あのころ...」

重鎮のデザイン回顧録～第六回

「Soda」とは おかしな銘である!

※今回のみ執筆者の意向により
文字を大きくしました



藤井一比古(ふじいかずひこ)
1948年福岡県久留米市生まれ
1981年JCD入会
2006年(株)乃村工務社退職
2014年(株)六耀社退職
2015年「デザイン工房・照門亭」主宰
マイスター商業施設士
インテリアプランナー

あのころから、子ども社会の中で「いじめ」が陰湿さを伴いエスカレートしていった。子どもの自死のニュースが、季節の変わり目には決まって報じられるようになった。13年前、「Soda」がスタートした頃のことである。JCDの公共性・公益性を高める目的で「Soda」の試行は始まった。

「Soda」とはおかしな銘である。世の中で「Soda」と云っても、何語で何を意味しているのか分からない。発案者はこのプロジェクトがスタートした時、副理事長を務められていた奥平与人氏。「創造の芽を育む」取り組みの主旨にちなんで「Seed of Design Award」略称

Soda」と命名したのは、関東支部の東野龍也会員である。

都区内の小学校に出向き、子どもたちにデザインすることの楽しさを体験してもらう。5～6名のグループに分かれ、思いおもいに発想した空間を模型製作させる出前授業で、始めた頃は年1回の実施。出会う子どもの数が4～50人と限られていたものの、企画段階では予測し得ない「驚きと喜び」を与えてくれた。

- ・「京浜急行高架下に新しい街を作ろう」=2003年
- ・「小学校の校庭に夢の商店街を作ろう」=2004年
- ・「高層ビルの中に未来の都市を作ろう」=2005年
- ・「今は無くなったお店を現代に蘇らせる」=2006年
- ・「すわれる、いれる、話せる、対話できる」=2007年
- ・「空間と光の体験」=2008～2009年
- ・「デザイン体感・あかり/素材を知ろう」=2009年～2016年

無心で作業に取り組む姿、キラキラしている瞳、しからみに捕らわれない発想。子どもたちから伝わってくる圧倒的なエネルギーは、デザインの専門職を自任しているわれわれを「主客同等」の世界へ導いていく。

「Soda」を始めた理由がもう一つ。それは、公立小学校のカリキュラムに「デザイン」の授業が無かったこと。6年間で学ぶことは多く、デザインが教科になりにくい背景は理解できる。だが、ファッション、TVゲーム、ステーションナリイ、アニメ、... 子どもたちの日常にはデザインツールが溢れ、彼らの感性を磨かせる機会を先延ばしにする手はない。学校が教えられないのであれば「JCDがひと役買おう!」これも「Soda」を始めた理由である。

「Soda」にはモデルがある。JCD九州支部と様々な協会・団体の若手デザイナー、福岡市、地元企業、がコラボレートして1996年から開催していた「FUKUOKAデザインリーグ(=2000年以降改名)」この活動が「子ども教育ワークショップ

をめざした「Soda」の元貴分となった。当時、JCDの九州支部長を務められていた金子洋伸氏とは仕事のご縁もあり、「Soda」への貴重な助言を数多くいただいた。改めて謝意を申し上げたい。

「Soda」・・・は何ものになる?

学ぶことの意味を見つけにくい閉塞感にまつまれた現代。タブレット端末などのIT機器で、自分に適した教材や教育環境を世界中から選べる時代。液晶画面から送り出される情報と領域は想像を超えるスピードで広がり、学校も教師の存在すらも変えていく。親の経済力が子どもの学力に格差を生み、子どもを見守ってきた地域社会は変貌する。こうした中で、出前授業も進化を続ける。

- ・教室で子ども自身が漫才を実演し、人前で話すこと、笑いを誘う工夫を体験する「笑育授業」(=大阪府・池田市)
- ・第1線で活躍するアーティストをゲストに迎え、彼らの凄技に触れることで多様な価値観を育ませる「ミート・ザ・クリエーターズ」(=東京都・渋谷区)
- ・東北大学の女性大学院生が未来のリケジョを育てる「サイエンス・エンジェル」(宮城県・仙台市)
- ・各種メーカーが全国で開催している体験型食育授業は、毎年100件以上

「鋏・定規・鋸・カッターナイフ・接着剤・・・」などの道具を駆使し、「床材・壁装材・フレーム材・下地材・・・」など、プロが使う素材を、指を動かし全身を使って空間創造する。子どもたちが座学で深める知識と、「Soda」で体感する知恵とがバランス良く融合すること。「Soda」が取り組んできた基本姿勢である。

「Soda」はこれからも、JCD=空間デザインの専門職集団ならではのスタイルで、子どもの創造力を広げる社会貢献を続けていけるといい。さいわい、賛助会員の方を含め参加メンバーが20名を超える大きなチームとなり、沖縄や北海道にも出前授業を届けられる環境が備わった。「Soda」委員会に集う人は美しく輝き、このワークショップをそれぞれの想いで楽しんでいる。

また「Soda」では、子どもたちの創作成果を「作品集」にまとめる検討をしていると聞く。JCDの公的価値を世に問う意味でも、この冊子制作を実現させ、関係各位への寄贈・無償配布にとどまらず、書店でも販売できるものに仕上がればうれしい。

「Soda」草創期に参加されていた方のお名前を思い出すままにご紹介、「Soda」を今日まで支えてこられた皆さんへのお礼とさせていただきます。

・石田琢視(=退会)・井口幸子(=退会)・奥平与人・小田純純子・加藤博正・木村倫香・品川正之・鈴木進一郎(=退会)・大道寺祥司・太細通・浜本康一・廣瀬彩子・東野龍也・星明臣・山辺勝之(敬称略)

JCD 関東支部 新入会員・賛助会員



大綱 順一 株式会社エリアデザイン 代表取締役
港区西麻布3-1-25 金谷ホテルマンション204 TEL:03-6447-2640 FAX:03-6447-2641 E-mail:ohnawa@areadesign.co.jp URL:http://areadesign.co.jp



下村 敦子 株式会社イリア インテリアデザイン部
港区赤坂6-5-16 TEL:03-5561-2563 FAX:03-5561-2568 E-mail:shimomura@ilya.co.jp URL:www.ilya.co.jp
業績:1.「金沢東急ホテル」(ホテル、金沢市、インテリアデザイン、2014)、2.「Aqua sports & spa」(スポーツ施設、二子玉川、インテリアデザイン、2016)、3.「正栄食品 役員フロア」(オフィス、秋葉原、インテリアデザイン、2013)、4.「ウェスティン都ホテル京都 宴会場」(ホテル、京都府、インテリアデザイン、2013)、5.「高坂カントリークラブ」(ゴルフクラブ、埼玉県、インテリアデザイン、2012)、他:Soda委員会所属



株式会社 クラマスTK, B
板橋区連根3-27-17 石井ビル3F 03-5948-7248 03-5948-7249
http://www.kuramasu.co.jp



中爰株式会社
大田区多摩川1-31-12 03-5732-0661 03-5732-0660
http://www.chuai.co.jp

新入支部会員

- 植松 孝幸 B-ROSE JAPAN
- 坂井 湊 株式会社オリハラミキデザインオフィス
- 深田 祐馬 株式会社深田建築デザイン研究所 東京事務所

営業用家具のエキスパート
BELL FURNITURE

株式会社 **ベル・ファニチャー**

【本社・ショールーム】 〒232-0014 横浜南区吉野町4-17-3 TEL: 045-252-1411 FAX: 045-252-1407
http://www.bell-f.co.jp/

TERRA

特別な時間を、
特別な空間から

デザイン・ラグジュアリー
タイルのブランド
「TERRA」が、
タイルの概念を覆します。

www.riviera.jp/terra

リビエラ株式会社
〒160-0023
東京都新宿区西新宿 5-3-2
イマス西新宿ビル 1F
TEL: 03-6276-3450
FAX: 03-6276-1121
e-mail: info@riviera.jp

vitra.

2016年より「Visplay」は
「Vitra」ブランドに統合
されました。
岡村製作所は日本における
Vitra店舗用什器システムの
総販売代理店になります。

okamura
Exclusive Dealer for retail systems by Vitra in Japan